

記事を読んで、問いに答えなさい。

2021年10月7日朝刊東部版

三島散策魅力を観光に

地域活性化に向けて商品開発に取り組み島田商高の生徒が6日、三島市の日大国際関係学部で観光について学ぶ学生との交流学习を行った。フィールドワークでは市内を巡り、地域の魅力と観光資源をいかに結びつけるかを実地で学んだ。



三島が誇る清流に親しむ学生や生徒
三島市の源兵衛川

島田商高生、日大生と交流学习 地域PRノウハウ学ぶ

同校の1、2年生12人が日大を訪れ、学生が東京五輪に向けて改良した市の多言語型観光スマホサイトを参考にフィールドワークのコースを考え、学生を含む3グループに分かれて出発し、三嶋大社や楽寿園などの観光施設、水の都と呼ばれる市内の川沿いを散策した。みしまコロッセなど三島の名物も楽しみ、最後に市の職員との意見交換も行った。

来年度から商業科目に「観光ビジネス」が加わるのを前に、同校では商品開発や特産品を活用した地域のPRに取り組んでいる。地元を歩いて魅力を発掘し、商店などを取材するノウハウを学生に教えてもらおうと交流学习を企画した。2年の坂田大さん(17)は「三島は新幹線駅もありながら、近くにきれいな川や自然がたくさんある。商品と観光をどうつなげるか参考になった」と話した。

(三島支局・金野真仁)

①記事の交流学习で、生徒は何をテーマに学んだのか。

()

②交流学习のフィールドワークの場所として三島を選んだ理由は何か。

()

③フィールドワークのコースを考えるために生徒が行ったことは何か。記事中の関係する部分に線を引きなさい。

④この交流学习に関係する高校の商業科目は何か。()

年 組 名前

作問者：静岡新聞NIEコーディネーター 矢沢和宏

(中学校、高校／社会、総合、進路指導)



Newspaper in Education

静岡新聞で学ぼう



静岡新聞

記事を読んで、問いに答えなさい。

解答例

2021年10月7日朝刊東部版

三島散策魅力を観光に

地域活性化に向けて商品開発に取り組み島田商高の生徒が6日、三島市の日大国際関係学部で観光について学ぶ学生との交流学习を行った。フィールドワークでは市内を巡り、地域の魅力と観光資源をいかに結びつけるかを実地で学んだ。



三島が誇る清流に親しむ学生や生徒

三島市の源兵衛川

島田商高生、日大生と交流学习 地域PRノウハウ学ぶ

同校の1、2年生12人が日大を訪れ、学生が東京五輪に向けて改良した市の多言語型観光スマホサイトを参考にフィールドワークのコースを考えた。学生を含む3グループに分かれて出発し、三嶋大社や楽寿園などの観光施設、水の都と呼ばれる市内の川沿いを散策した。みしまコロッセなど三島の名物も楽しみ、最後に市の職員との意見交換も行った。

来年度から商業科目に「観光ビジネス」が加わるのを前に、同校では商品開発や特産品を活用した地域のPRに取り組んでいる。地元を歩いて魅力を発掘し、商店などを取材するノウハウを学生に教えてもらおうと交流学习を企画した。2年の坂田大さん(17)は「三島は新幹線駅もありながら、近くにきれいな川や自然がたくさんある。商品と観光をどうつなげるか参考になった」と話した。

(三島支局・金野真仁)

①記事の交流学习で、生徒は何をテーマに学んだのか。

((例)地域の魅力と観光資源をいかに結びつけるか。
地元を歩いて魅力を発掘し、商店などを取材するノウハウを教えてください。 など)

②交流学习のフィールドワークの場所として三島を選んだ理由は何か。

((例)新幹線駅もありながら、近くにきれいな川や自然があり、商品と観光をどうつなげるか
実地を通して学べるから。)

③フィールドワークのコースを考えるために生徒が行ったことは何か。記事中の関係する部分に線を引きなさい。

本文6～13行目「学生を含む3グループに～意見交換も行った。」に線を引く。

④この交流学习に関係する高校の商業科目は何か。(観光ビジネス)

年 組 名前

作問者: 静岡新聞NIEコーディネーター 矢沢和宏

(中学校、高校/社会、総合、進路指導)